

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2022年度)

| | | | | | | | | | | |
|----------------|---|-------------------------------------|-----------|------|-----------------|----|---------|-------|---------|-----|
| 専門分野区分 | ヒューマンスキル | 科目名 | ゼミナールⅡ | | | | | 科目コード | TL002A1 | |
| 配当期 | 通年 | 授業実施形態 | 通常 | | | | | 単位数 | 2 単位 | |
| 担当教員名 | 金下 文彦 | 履修グループ | 2H(IN/IS) | | | | | 授業方法 | 講義 | |
| 実務経験の内容 | <p>システムエンジニアとしてIT企業で32年間、システム構築から運用まで携わってきた。小規模なグループウェアシステム構築での要件定義からサービスインまでの実施や、大規模な情報系の顧客情報システムにおける業務開発の実施を経験している。また、システム開発の品質確認部門で、各プロジェクトにおける構築フェーズの品質レビューを実施した経験を持つ。これらの実務経験をもとにプログラム設計技法について実践的に授業展開を行う。</p> | | | | | | | | | |
| 学習一般目標 | <p>ゼミナールは卒業までの期間をとおして、社会人として自立(自律)するための基礎的な能力の習得を目的としています。本科目では学生生活とおして、①学習・生活スタイルを確立すること、②自己管理する習慣を身に付けること、③情報リテラシーを身に付けることを目標とします。</p> | | | | | | | | | |
| 授業の概要および学習上の助言 | <p>継続して学習できるように規則正しい生活習慣を確立してください。これまでの経験を振り返ることで自己理解を深めて自ら今後の目標を定めるとともに、日々の学習成果を自己管理する習慣を身に付けてください。また、情報システムにまつわる職種を理解し、将来の目標設定に役立ててください。</p> | | | | | | | | | |
| 教科書および参考書 | 適宜プリント等を配付 | | | | | | | | | |
| 履修に必要な予備知識や技能 | 特になし | | | | | | | | | |
| 使用機器 | なし | | | | | | | | | |
| 使用ソフト | なし | | | | | | | | | |
| 学習到達目標 | 学部DP(番号表記) | 学生が到達すべき行動目標 | | | | | | | | |
| | 3/4/5 | 自分の考えや意見を表現し、他者とコミュニケーションを図ることができる。 | | | | | | | | |
| | 3/4/5 | 目標を設定し、計画を立て、適切に実行し、結果を確認することができる。 | | | | | | | | |
| | 1/2 | ICTをとおして、社会との関わりについて説明することができる。 | | | | | | | | |
| | 1 | なし | | | | | | | | |
| | 1 | なし | | | | | | | | |
| 達成度評価 | 評価方法 | 試験 | 小テスト | レポート | 成果発表 (口頭・実技) | 作品 | ポートフォリオ | その他 | 合計 | |
| | 学部DP | 1.知識・理解 | | | | 10 | | | | 10 |
| | | 2.思考・判断 | | | | 10 | | | | 10 |
| | | 3.態度 | | | 10 | 10 | | | | 20 |
| | | 4.技能・表現 | | | 10 | 10 | | | 10 | 30 |
| | | 5.関心・意欲 | | | 10 | | | | 20 | 30 |
| | 総合評価割合 | | | | 30 | 40 | | | 30 | 100 |
| 評価の要点 | | | | | | | | | | |
| 評価方法 | | 評価の実施方法と注意点 | | | | | | | | |

| | |
|-------------|--------------------------------------|
| 試験 | |
| 小テスト | |
| レポート | 授業中に課すレポート等 |
| 成果発表(口頭・実技) | 学校行事への参加、個人ワークおよびグループワークへの参加 |
| 作品 | |
| ポートフォリオ | |
| その他 | 積極的・継続的な学習に対する評価として、授業態度および出席状況を勘案する |

授業明細表

| 授業回数 | 学習内容 | 授業の運営方法 | 学習課題(予習・復習) |
|------|---|---------|--------------------------|
| 第1回 | 学校生活をととした学びの自己点検をすることができる | | |
| 第2回 | 学校での学びをととした資格取得について、1年間の具体的な目標を立てることができる | | |
| 第3回 | 企業現場におけるコミュニケーションの特徴について説明することができる | | 予習:一般的なビジネスマナーを調べる |
| 第4回 | 情報システムの設計や開発に携わる職種と仕事(タスク)について説明することができる | | 予習:情報システムに携わる職種を調べる |
| 第5回 | 情報システムの設計や開発に携わる職種と仕事(タスク)について説明することができる | | 予習:情報システムに携わる職種を調べる |
| 第6回 | 情報システムの設計や開発に携わる職種と仕事(タスク)について説明することができる | | 予習:情報システムに携わる職種を調べる |
| 第7回 | ICT(情報通信技術)を活用したものづくりの事例を発見することができる | | 予習:ITを活用している業種や企業を調べる |
| 第8回 | ICT(情報通信技術)を活用したものづくりの事例を発見することができる 日常生活の変化や影響を調べる | | 予習:ITを活用している業種や企業を調べる |
| 第9回 | 学校生活をととした学びを自己点検することができる | | |
| 第10回 | 基本情報技術者試験など資格取得の計画を立てることができる | | |
| 第11回 | これまでに学んだICT(情報通信技術)をととして、社会の動向や活用事例の発見することができる | | IoT、ビッグデータ、AIの活用事例を調べる |
| 第12回 | IT 業界の動向(トピックス) | | 予習:IT企業にまつわる時事ニュースなどを調べる |
| 第13回 | IT 業界の動向(トピックス) | | 予習:IT企業にまつわる時事ニュースなどを調べる |
| 第14回 | 学校生活をととした学びを自己点検し、後期の具体的な目標を立てることができる | | |
| 第15回 | 自分が考える後期の学習計画を発表することができる | | |

| | | | |
|------|---|--|-------------------|
| 第16回 | 【後期】 学校生活をととした学びの自己点検をすることができる | | |
| 第17回 | 学校での学びをととした資格取得について、これまでの成果を評価し、今後の目標を立てることができる | | |
| 第18回 | 校外行事(詳細未定)の準備 | | |
| 第19回 | 学校生活をととした学びを踏まえて、将来の進路、就職希望などを示すことができる(個別面談) | | 予習: 将来の目標について考える |
| 第20回 | 学校生活をととした学びを踏まえて、将来の進路、就職希望などを示すことができる(個別面談) | | 予習: 将来の目標について考える |
| 第21回 | 学校生活をととした学びを踏まえて、将来の進路、就職希望などを示すことができる(個別面談) | | 予習: 将来の目標について考える |
| 第22回 | システム開発演習Ⅰの進捗、およびメディアフロンティまでの計画を自己点検することができる | | |
| 第23回 | システム開発演習Ⅰの進捗、およびメディアフロンティまでの計画を自己点検することができる | | |
| 第24回 | IT関連トピックス 社会情勢や企業動向などを踏まえた話題を取り上げる | | |
| 第25回 | IT関連トピックス 社会情勢や企業動向などを踏まえた話題を取り上げる | | |
| 第26回 | IT関連トピックス 社会情勢や企業動向などを踏まえた話題を取り上げる | | |
| 第27回 | 学校生活をととした学びを自己点検し、進級に向けて、具体的な目標を立てることができる | | |
| 第28回 | 次年度の具体的な目標を立てることができる | | 予習: 次年度の学びの予定を立てる |
| 第29回 | 2年次の目標に対する年間チェック | | |
| 第30回 | 次年度の学習計画を発表することができる | | |